

2024. 2. 9

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

■2024年3月■

「日本のメディア産業における働き方」(2024年3月9日(土)開催)

「現代イスラームが取り組む『人権』問題」(2024年3月23日(土)開催)

開催方法:ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2024年3月の立命館土曜講座は、クリエイティブメディア研究センターの企画として「日本のメディア産業における働き方」、中東イスラーム研究センターの企画として「現代イスラームが取り組む『人権』問題」をテーマに開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■「日本のメディア産業における働き方:少年ジャンプ編集部を事例に」

日時:2024年3月9日(土)10:00~11:30

開催方法:ハイブリッド講座 会場:末川記念会館(衣笠キャンパス)+Zoom ウェビナー

■「現代イスラームが取り組む『人権』問題」

日時:2024年3月23日(土)10:00~11:30

開催方法:ハイブリッド講座 会場:歴史都市防災研究所(衣笠キャンパス)+Zoom ウェビナー

開催方法:ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内容:別紙参照

聴講料:無料

定員:「日本のメディア産業における働き方:少年ジャンプ編集部を事例に」

末川記念会館180人、Zoom ウェビナー400人

「現代イスラームが取り組む『人権』問題」

歴史都市防災研究所カンファレンスルーム35人、Zoom ウェビナー400人

※実施前日12:00までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法:立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

以上

本リリースの配布先:京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

【立命館土曜講座 3月】

■「日本のメディア産業における働き方：少年ジャンプ編集部を事例に」

日時：2024年3月9日(土) 10:00～11:30

講師：クリエイティブメディア研究センター 所長/立命館大学国際関係学部 教授 大山 真司

講師による内容紹介：

日本ではマスコミ・コンテンツ業界と呼ばれるクリエイティブ産業では、世界的にジョブ型雇用が定着しており、プロジェクト毎に契約を更新するような極めて流動性が高く、不安定な雇用が常態化しています。同時にそうした「自由」、「自律性」、「柔軟性」が、クリエイティブな創造と直結するという言説が存在します。一方集英社のような日本の伝統的大手メディア企業では、終身雇用、年功序列を特徴とするメンバーシップ型雇用体系が維持されています。しかし、新卒で一括採用され、専門性や情熱とはほぼ無関係に配属されたサラリーマン編集者たちの手によって、少年ジャンプのようなクリエイティブな成功を世界中で収めています。この講演では集英社の就活・配属・異動のプロセスと、ジャンプ配属後の編集者とマンガ家の関係を通して、メディア産業における日本と英米モデルの働き方の違いを考察し、極端な個人化、自律性、柔軟性を提唱し、世界的に受け入れられている英米型のクリエイティブ労働モデルの普遍性について検討します。

■「現代イスラームが取り組む『人権』問題」

日時：2024年3月23日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学衣笠総合研究機構 准教授 池端 露子

講師による内容紹介：

現代に生きるイスラーム法学者たちは、目まぐるしく変容する時代の流れの中で新しい法解釈を生み出し続けてきました。新しい科学技術、医療技術、経済システムが登場するたびに、それらの現代的な課題について、一体何がどこまでイスラーム法に適う営みであるかを考慮し続けてきました。彼らが生み出す法解釈は、一般のイスラーム教徒たちにとっては「より良いイスラーム教徒として生きる」あるいは「より良い社会を形成する」ための指針のひとつとなります。

「人権規範」についても、イスラーム法学者たちは検討を重ねてきました。それでは、教育を受ける権利、表現の自由などは、イスラーム法の立場からはどのように考えられてきたのでしょうか。そもそも「人が生まれながらに持つ権利」とは、どのように解釈されるのでしょうか。

確かに「イスラームの名のもとに」人権侵害が行われる事例は複数存在しています。しかしその一方で、イスラームの立場から人権を守る必要性を説くイスラーム法学者たちも数多くいます。本講演では、国際的に活動する彼ら法学者たちにスポットライトを当ててお話しします。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>